

情報経営イノベーション専門職大学 情報経営イノベーション学部 カリキュラムマップ

必修科目…太字・科目名に●
 選択必修科目…科目名に○
 選択科目…印なし

CP①
 基礎科目・現代社会基礎科目では、生涯にわたり自らの資質を向上させ、職業的自立を図るべく必要な能力を獲得するために、以下のような教育内容で構成する。

- 1) 自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できるようキャリアデザインなどの内容を学ぶ。
- 2) グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けるため、現代社会や語学などの内容を学ぶ。
- 3) 変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができるよう、数的論理力や数的処理能力などの内容を学ぶ。

CP②
 職業専門科目のうち経営科目では、企業の戦略と組織に関する理論を学び、その考え方を生かし、企業経営の現状や目指すべき姿を多面的に理解できるよう以下のような教育内容で構成する。

- 1) 企業やビジネスの継続的改善に向けた目標を設定し、それを状況に応じながら計画的に実行できるようマネジメントや起業など企業経営の内容を学ぶ。
- 2) 市場の情報収集や調査を行い、経営課題を発見することができるようマーケティングやフィールドリサーチなどの内容を学ぶ。
- 3) 企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けるため、法務や会計などの内容を学ぶ。
- 4) 目標の明確化、計画立案から計画遂行に至る能力、システム開発スキル、課題発見・分析・解決を通じたビジネススキルの獲得を行う学びの場として、3年次にさまざまな企業現場での臨地実務実習を約640時間設定する。
- 5) 新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができるよう4年間を通じた必修科目の「イノベーションプロジェクトⅠ～Ⅶ」を設置する。

CP③
 職業専門科目のうち情報通信技術科目では、情報通信技術に関する基礎的な知識・スキルを身に付け、システム開発に活用できるよう以下の教育内容で構成する。

- 1) システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができるようソフトウェア設計やシステム設計などの内容を学ぶ。
- 2) コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができるようプログラミングやデータ構造や処理法などの内容を学ぶ。
- 3) 基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができるようネットワーク等の内容を学ぶ。
- 4) データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付ける。
- 5) 情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を学ぶ。

CP④
 展開科目・グローバルコミュニケーション科目では、文化的背景の異なる人々と協働するために必要となる文化の違いやビジネスのルールなどを身に付けるため、以下のような教育内容で構成する。

- 1) グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など必要なコミュニケーションがとれるよう英語コミュニケーションなどの内容を学ぶ。
- 2) 文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などの内容を学ぶ。

CP⑤
 総合科目では、理論と実践の架橋となる科目として、「総合理論演習」「総合実践演習」を3年次後期から4年次にかけて設置し、修得した知識・スキルを統合し、新たなサービスやビジネスを生み出すための実践的かつ応用的な能力を養う。

| 基礎科目 | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | |
|-----------|------------------|-----------------|--------------------|-------------------|-----------------|------------------------------|-------------------------|------------------------|
| | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 現代社会基礎科目群 | ●イノベーションの志 | | ●キャリアデザインⅠ | | | ●キャリアデザインⅡ | | |
| | ●スタディスキル | ●リサーチ入門 | | | | | | |
| | ●英語コア・スキルズⅠ | ●英語コア・スキルズⅡ | ○職業倫理 | ○科学史 | | | | |
| | ○数学基礎A | ○数学基礎B | ○先端グローバル社会 | ○ICTと人間 | | | | |
| | ○数学基礎C | 英語アカデミック・リテラシー | 英米文学演習 | | | | | |
| 経営 | ●マネジメント(経営学基礎) | | ○オペレーションズマネジメント | | | | | |
| | ●マーケティング基礎 | ●法務リテラシーⅠ | | | | | | |
| | | ●アカウントング入門 | | | | | | |
| | | | ○問題形成と問題解決 | ○ビジネスゲームによる経営意思決定 | ○イノベーション特論 | デザインと経営 | | |
| ビジネス基礎科目群 | | | ○組織行動論 | ○人的資源管理論 | ○グローバル企業戦略論 | クロスステックビジネスデザイン | | |
| | | | マーケティング応用 | | 地域創生とイノベーション | 新興市場における事業開発 | | |
| | | | ○アカウントング応用 | ○ファイナンス入門 | ○コーポレートファイナンス | | 税務会計・会計処理 | |
| | | | ○法務リテラシーⅡ | | | | | |
| 職業専門科目 | ●イノベーションプロジェクトⅠ | ●イノベーションプロジェクトⅡ | ●イノベーションプロジェクトⅢ | ●イノベーションプロジェクトⅣ | ●イノベーションプロジェクトⅤ | | ●イノベーションプロジェクトⅥ | |
| | | ●スタートアップ基礎(起業論) | ●ビジネスフィールドリサーチⅠ | ●ビジネスフィールドリサーチⅡ | ●インターンシップⅠ | ●インターンシップⅡ | | |
| | ●プログラミングⅠ | ●プログラミングⅡ | ●ソフトウェア設計・構築 | ●情報技術演習Ⅰ | | | | |
| | ●データ構造と処理法 | ●ネットワーク技術 | ●データベース | ●システム設計演習 | | | | |
| 情報通信技術 | ●コンピュータとソフトウェア基礎 | コンピュータアーキテクチャ | 情報系数学応用A | 情報系数学応用B | 情報系数学応用C | | | |
| | オペレーティングシステム | オペレーティングシステム演習 | ○モバイルサービス概論 | ○データサイエンス | | | | |
| | | | 情報システムのプロジェクト管理 | 情報技術演習Ⅱ | システムインテグレーション | | | |
| | | | ○Webシステム演習 | ソフトウェアプロセスと品質 | | ○クラウド | ○スーパーコンピュータ | |
| 展開科目 | | | ○インタラクティブ・システムデザイン | | | ○ビッグデータ | ○AI | |
| | | | ○ネットワーク構築Ⅰ | ネットワーク構築Ⅱ | ネットワーク構築Ⅲ | ○IoT | | |
| | | | | ○情報セキュリティ演習Ⅰ | 情報セキュリティ演習Ⅱ | | | |
| | ●ビジネス英語実習Ⅰ | ●ビジネス英語実習Ⅱ | ●ビジネス英語実習Ⅲ | ●ビジネス英語実習Ⅳ | | | | |
| 総合科目 | | | | | ○グローバルビジネスと通訳 | ○グローバルビジネスにおけるディスカッション・ディベート | ○グローバルビジネスにおけるプレゼンテーション | ○グローバルビジネスにおけるネゴシエーション |
| | | | | | ○多文化理解 | ○国際情勢論 | ○国際メディア論 | ○国際開発論 |
| | | | | | ○比較宗教論 | ○日本文化 | | ○国際経営と商慣習 |
| | | | | | | | ○ファイナンス業における国際化 | ○農業・林業・漁業における国際化 |
| | | | | | | ○製造業における国際化 | ○サービス業における国際化 | |
| | | | | | ●総合理論演習 | ●総合実践演習 | | |

DP① 職業的自立を図る能力
 1) 自分のライフ・キャリアに関する明確な目標をもち、その実現のために、必要なステップや優先順位を自ら考え意欲的に行動できる。
 2) グローバルな視野をもってさまざまな人々の抱える課題を多面的・構造的に理解するための知識や方法を身に付けている。
 3) 変化し続ける社会や組織を論理的に捉え順応することができる。

DP② 経営に関する知識・スキル
 1) 企業経営に関する理論・実践を学ぶことにより、継続的改善に向けた目標を設定し、状況に応じながら計画的に実施することができる。
 2) 市場の情報収集や調査を行い、経営上の課題を発見することができる。
 3) 企業の持続性という観点から、評価・分析する経営理論や実践的技法を身に付けている。
 4) 新たな価値をもたらすサービス・ビジネスを提案することができる。

DP③ 情報通信技術に関する知識・スキル
 1) システム開発や設計に関する知識やスキルをもとに、実際の開発プロジェクトに参加し顧客の要望や上長からの指示のもとシステム開発・設計ができる。
 2) コンピュータの本質的な側面および、ソフトウェアをつくる技術であるプログラミングを理解し、統合開発環境を活用してソフトウェアの構築ができる。
 3) 基本的なネットワーク通信の仕組み、各種プロトコルや情報セキュリティの全体像を理解し、その上で与えられた要求条件を元にデータベースと連携したシステムの構築ができる。
 4) データベースの原理・考え方や基本構造について理解し、関係データベースを設計構築する基礎的な能力を身に付けている。
 5) 情報通信技術を応用的に活用したサービス・ビジネスの知識を身に付けている。

DP④ 国際的コミュニケーション能力
 1) グローバルビジネスの現場で説明や討論、意見交換など、必要なコミュニケーションをとることができる。
 2) 文化的背景の異なる人々と協働するために、多文化、文献、様々な業界などを理解することができる。

DP⑤ 時代の変化に対応するビジネスの総合力
 経営や情報通信技術の専門的知識を体系的に理解し、国際社会と地域社会において、サービス・ビジネスを革新するために、これらの知識を応用することができる。

■想定される進路・就職先
 一般企業
 情報通信技術の開発企業

■養成する人材像
 変化し続ける時代の中で、経営と情報通信技術に関する理論と実践力、国際的なコミュニケーション能力、これらを組み合わせた応用力を主体的に身に付け、企業において新規の事業やサービスを立案・提案する企画運営能力を発揮することや、自ら起業して新たなサービス・ビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する人材。